

国際シンポジウム 家事・ケア労働のディーセントワーク に向けた日仏の挑戦——家庭の中の労働者 と利用者の連携（coalition）

2025年2月22日（土）
午後2時～5時（開場午後1時半）

仏語報告は、日本語逐語通訳あり

イザベル・ピュエシュ Isabelle Puech
（フランス個人家庭雇用主連盟・家庭雇用研究所・所長）
「フランスにおける家事労働者の権利創出にむけた主婦の動員」

クレマン・ルドゥ Clémence Ledoux
（ナント大学 法・政治学部准教授）
「国家の見えざる手？フランスにおける家事労働者と訪問介護ヘルパーをめぐる権利とナショナルレベルの主体間交渉」

山根純佳（実践女子大学 人間社会学部教授）
「新自由主義に対抗するのは誰なのか——家事ケア労働のフォーマル化にむけた非営利セクターの可能性」

司会

小谷幸（日本大学）

伊藤るり（一橋大学名誉教授）

場所：実践女子大学（渋谷キャンパス）9階 カフェテリア
（エレベーターで直接9階までお上がりください）

参加費：無料 要申込（2月20日まで）こちらから→

主催：科研費基盤研究C（JP24K05233）

「家事ケア労働のディーセント・ワーク実現に向けた利用者
と労働者の連携の日仏米比較」（研究代表者：山根純佳）

後援：国際ジェンダー学会

